

--	--	--	--	--

関係部署に回覧をお願いします。

各 位

「建築士会CPD制度」プログラム認定(5単位)
「建築CPD情報提供制度」プログラム認定(5単位)
「土木施工管理CPDS認定講習」(5ユニット)
「建設コンサルタンツ協会CPD認定講習」(5単位)

◆◆◆ 積算演習を組み入れ建築工事積算実務をわかり易く解説 ◆◆◆

- 耐震改修工事費(躯体・内装)の算出例等
- 適正な工事費積算のための留意事項等
- 公共建築工事積算演習

令和元年度 公共建築工事の積算講習会 開催のご案内

開催日：2019年12月6日(金)

会 場：新梅田研修センター
大阪市福島区福島6-22-20

主 催：一般財団法人 経済調査会

講習会の開催にあたって

一般財団法人 経済調査会

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

当会は、公共・民間建設工事の設計積算業務に使用される価格情報誌「月刊積算資料」、「季刊建築施工単価」等を発行し、広く工事費積算に関わるデータの提供業務等を手掛けております。

そうした情報提供の一環として、このたび『令和元年度 公共建築工事の積算講習会』を開催いたします。

本講習会では、平成31年度(令和元年度)の公共建築工事積算基準の改定の概要や「改訂23版 工事歩掛要覧(建築・設備編)」を活用した工事費算出の手法、また建築工事をめぐる最近の動向等についてわかりやすく解説させていただきます。

つきましては、この機会に『公共建築事業』に携わる皆様が多数参加され、建築工事積算全般についての理解を深められ、今後の業務にお役立て頂きますようご案内申し上げます。

謹 白

開催要領

◆開催日時 2019年12月6日(金) 10:00～16:00

◆会場 新梅田研修センター
大阪市福島区福島6-22-20【TEL:06-4796-3371】

◆講師 岸本 国幸(元 国土交通省中国地方整備局)

◆受講料 1名 8,000円(税込)

◆図書テキスト 「改訂23版 工事歩掛要覧〈建築・設備編〉」

特別価格 7,600円(税込)(定価:本体 7,700円+税)

※上記図書テキストをお持ちの方は、当日必ずご持参下さい。

講習会専用サブテキスト **無料**(受講料に含まれます)

◆募集定員 145名程度(但し定員になり次第、締め切らせていただきます)

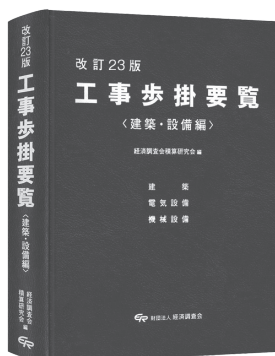
◆申込方法 申込書に必要事項をご記入の上、FAXにて申し込みください。

◆その他 ①お申込み受付後、受講者証、会場地図を送付致しますので、当日ご持参ください。
②筆記用具、電卓(関数電卓ならなお可)をお持ちください。
③図書テキストは当日配布いたします。
④認定のCPD・CPDS技術者証をお持ちの方は、カードリーダーによる学習履歴申請を当会が行いますので、当日ご持参ください。
⑤当日欠席の場合、資料一式送付いたします。
※受講料の返却には応じかねますのでご了承下さい。

◆お問い合わせ先 一般財団法人 経済調査会 関西支部 業務担当
〒531-0015 大阪市北区中崎西2-4-12
TEL:06-6372-1721 FAX:06-6372-2585

【図書テキストのご案内】

使用図書テキスト 改訂23版 工事歩掛要覧〈建築・設備編〉



2019.9発行予定

経済調査会積算研究会編
B5版 約800頁
定価:本体 7,700円+税
→特別価格 7,600円(税込)

参考資料として2019年3月から適用の公共工事
設計労務単価、共通費の算定金額例を追加

◆最新の国土交通省等の基準公表歩掛に準拠し、建築工事の積算に必要な施工歩掛と各工種・工法の解説を掲載

●最新の国土交通省公表歩掛に加え、各種歩掛を掲載
●積算体系を網羅しわかりやすく解説

<主要目次>

【建築工事編】

1. 仮設 2. 土工 3. 地業 4. 鉄筋 5. コンクリート 6. 型枠
7. 鉄骨 8. 既製コンクリート 9. 防水 10. 石 11. タイル 12. 木工
13. 屋根およびとい 14. 金属 15. 左官 16. 建具 17. 塗装 18. 内外装
19. 仕上げユニットほか 20. 排水 21. 構内舗装 22. 植栽 23. とりこわし
24. 建築改修

【電気設備工事編】

1. 共通工事 2. 電力設備工事 3. 通信・情報設備工事 4. 改修工事

【機械設備工事編】

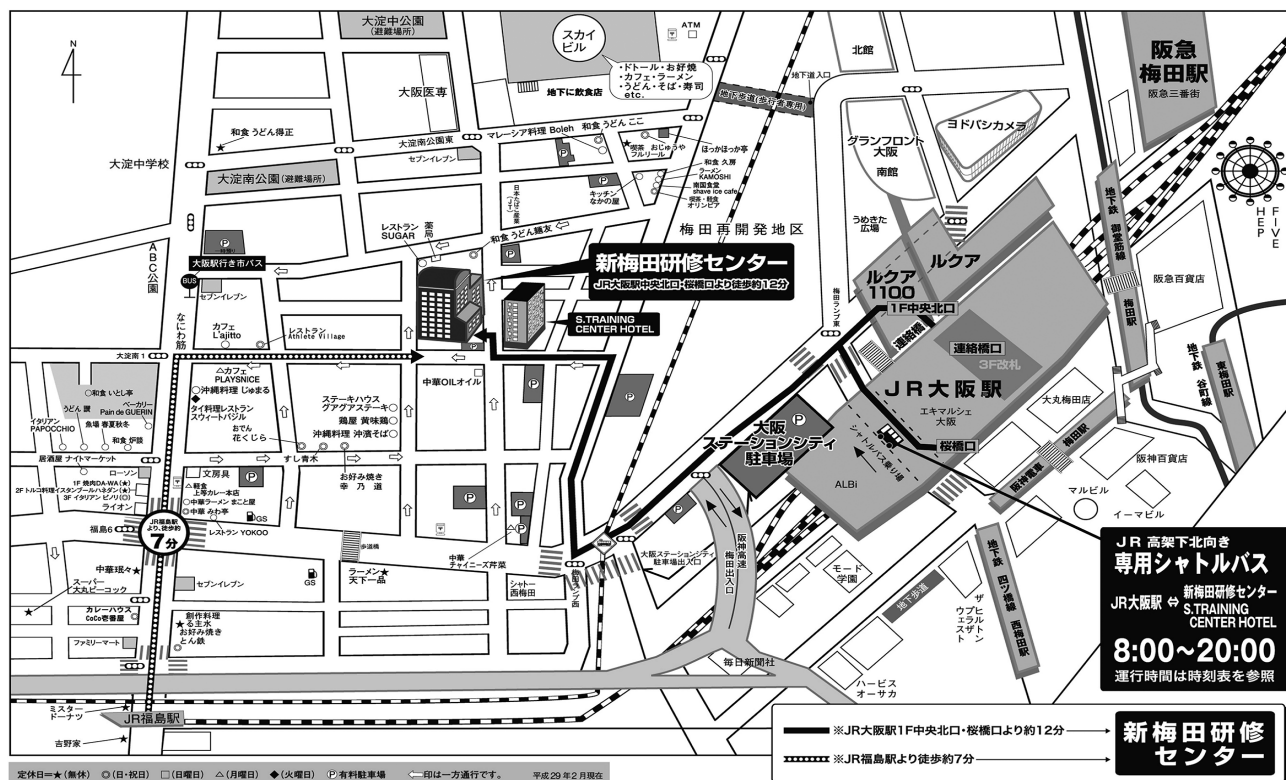
1. 共通工事 2. 空気調和設備工事 3. 自動制御設備工事
4. 給排水衛生設備工事 5. 改修工事

【プログラム】 ◎受付開始 9:20より

時 間	項 目
10:00～16:00	1. 公共建築工事に関する最近の動向 2. 平成31年度(令和元年度)公共建築工事積算基準について 1) 公共建築工事積算基準等資料の説明 2) 公共建築工事共通費積算基準及び計算例 3. 公共建築工事内訳書標準書式 講師の経験に基づき作成した資料を用い、解説します。 4. 耐震改修工事費(躯体・内装)の算出例 5. 公共建築工事費算出について 直接仮設や改修工事等、設計・積算時において難解かつ取り違いしやすい箇所について、一部図面なども用いながら詳細に解説します。 6. 公共建築工事積算演習と解説 (工事費を構成する各細目単価の事例についての演習) 最初に積算方法を例示し、その後に演習に取り組んでいただきます。 演習中は随時、質問を受け付けます。演習終了後に回答と解説を行います。 7. 質疑応答 ※12:00～13:00 昼食休憩

注) 演題及び時間割については変更になる場合があります。
適宜休憩をはさみます。

▶▶▶▶▶▶▶ 会場案内図 ◀◀◀◀◀◀◀



※ご加盟の協会等がありましたら下記にご記入下さい。

所属協会名	
-------	--

一般財団法人 経済調査会 関西支部 行

下記内容をご記入のうえ、FAXにてお申込みください。

申込FAX番号

06-6372-2585

お問い合わせ TEL 06-6372-1721

令和元年度 公共建築工事の積算講習会（12/6大阪） 受講申込書

申込日： 月 日

官公庁名・会社名（フリガナ）	所属部課名	連絡担当者名
所在地	TEL（ ） - FAX（ ） - e-mail	

参加者		図書テキスト
所属部課	氏名（フリガナ）	改訂23版 工事歩掛要覧〈建築・設備編〉
①		購入する・購入しない
②		購入する・購入しない
③		購入する・購入しない
④		購入する・購入しない
⑤		購入する・購入しない

◎ 受講料	1名	8,000円(税込)	×	名	=	円
◎ 図書テキスト 『改訂23版 工事歩掛要覧〈建築・設備編〉』	1冊	7,600円(税込)	×	冊	=	円
合計						円

【お支払い方法について】 ※ 当日は受付が混雑いたしますので、現金でのお支払いはご遠慮ください。

申し込みを受付後、受講者証を送付しますので、受講者証が届きましたら受講料・図書テキスト代金の合計金額を下記口座へお振込ください。振込手数料はご負担くださいますようお願いいたします。

振込先	① 銀行 三井住友銀行 ペイサイド支店 当座 No.6024906 口座名義：一般財団法人 経済調査会 関西支部	振込予定日 ____月____日 頃に振り込みます。
-----	---	----------------------------

・ 必要書類があれば送付いたしますのでご記入下さい。

a. 見積書 _____ 枚 b. 請求書 _____ 枚 c. その他（ ）

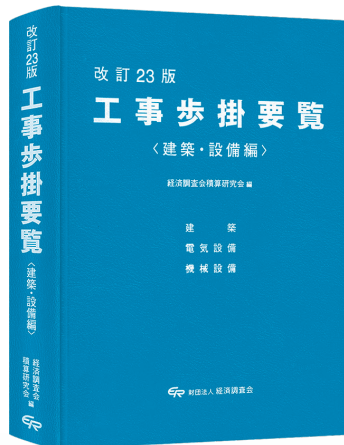
受講せずに、図書テキストのみ購入申込の方へ

この場合、通常の書籍ご注文として手配いたします。講習会同様FAXにてお申し込みください。

図書は請求書を同封して送付いたしますので到着後にお振込みください。

《書籍申込》 『改訂23版 工事歩掛要覧〈建築・設備編〉』 特別価格 7,600円 × 冊 送料サービス 計 円	《通信欄》 003 ※個人宛に案内等送付希望の方は、○で囲んで下さい。 「希望する」
--	---

※ご記入いただいたお名前、ご住所、電話番号等の情報は、今後、経済調査会発行の雑誌・書籍・電子媒体及び講習会等のご案内やアンケートの依頼の際に使用させていただくことがございます。ご了承ください。また、ご記入いただいた内容についての照会、修正等につきましては、お問い合わせ先までご連絡ください。なお、送本等の一部の業務については、守秘義務を含む業務契約を締結した経済調査会の協力会社に委託することがあります。



経済調査会積算研究会 編
B5判 約800頁
定価 本体7,700円+税

品確法では「予定価格を適正に定めること」を規定しており、公共建築工事において積算基準類の適用による工事費積算の実施が必須です。

本書は、公共建築工事標準仕様書・積算基準・標準単価積算基準・共通費積算基準・数量積算基準等の最新版に準拠しています。

- 平成31年度の積算基準類等に準拠
- 公共建築工事積算研究会参考歩掛りと、経済調査会積算研究会検討歩掛りも併せて掲載
- 付録に、(平成31年3月からの)公共工事設計労務単価、共通費の算定例を掲載

主要目次

総論

建築工事編

建築工事の積算について

1. 仮設
2. 土工
3. 地業
4. 鉄筋
5. コンクリート
6. 型枠
7. 鉄骨
8. 既製コンクリート

9. 防水
10. 石
11. タイル
12. 木工
13. 屋根およびとい
14. 金属
15. 左官
16. 建具
17. 塗装
18. 内外装
19. 仕上ユニットほか

20. 排水
21. 構内舗装
22. 植栽
23. とりこわし
24. 建築改修

電気設備工事編

電気設備工事の積算について

1. 共通工事
2. 電力設備工事
3. 通信・情報設備工事
4. 改修工事

機械設備工事編

機械設備工事の積算について

1. 共通工事
2. 空気調和設備工事
3. 自動制御設備工事
4. 給排水衛生設備工事
5. 改修工事

付録

1. 公共工事設計労務単価について
2. 共通費の算定例

内容見本

下記は改訂22版のものです。

共通仮設費の算出

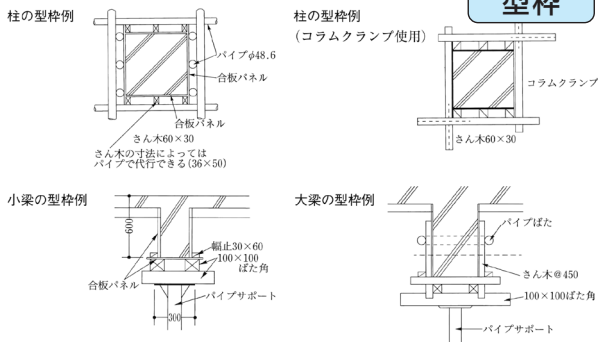
表・13 共通仮設費率（新営建築工事）

直接工事費	1,000万円以下	1,000万円を超える
上限	4.33%	$5.78 \times P^{-0.0313}$
共通仮設費率	共通仮設費率算定式により算出された率	
下限	3.25%	$4.34 \times P^{-0.0313}$

算定式 $K_r = 7.56 \times P^{-0.1105} \times T^{-0.2389}$

ただし、 K_r ：共通仮設費率（%）

P ：直接工事費（千円）とし、1,000万円以下の場合は、1,000万円とみなす。



型枠

変圧器

④ 高圧進相コンデンサ

表・電・2-4-3 高圧進相コンデンサ

名称	規格	高圧進相 コンデンサ 台	雑材料	電工 人	普通 作業員 人	その他	搬入費	摘要
高圧進相 コンデンサ (6kV/3kV)	三相 10/12kvar	1		0.248	0.248			
	〃 15/18 〃	1		0.301	0.301			
	〃 20/24 〃	1		0.442	0.442			
	〃 25/30 〃	1		0.558	0.558			
	〃 30/36 〃	1		0.575	0.575			
	〃 50 〃	1	一式 (材料価格 ×0.002)	0.655	0.655	一式	一式	
	〃 75 〃	1		1.13	1.13			

SGP-PB

表・機・1-1-2 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管（SGP-PB）
（給水・冷却水）ねじ接合（管端防食継手）

単位	呼び径	15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150
屋内一般配管	管	m				1.10					1.05	
継手						一式（管単価×0.65）						
接合材等						一式（管単価×0.05）						
支持金物						一式（管単価×0.15）						
配管工	人	0.089	0.100	0.123	0.151	0.166	0.208	0.271	0.307	0.401	0.474	0.577
はつり補修						一式（労務費×0.08）						
その他						一式						
機械室・	管	m				1.10					1.05	

関連
図書

建築工事の
積算手法を
解説



建築工事の
積算

電気・機械設備
工事の積算手法
を解説



建築設備工事の
積算